

学術総会参加登録：

1) 事前参加登録受付期間：

2018年12月4日(火)～2019年6月11日(火)※予定

2) 事前参加登録費：8,000円(当日参加登録費10,000円)

研修医 4,000円(当日参加登録費5,000円) 要証明書

学 生 2,000円(当日参加登録費3,000円) 要証明書

3) 登録方法：受付は全てインターネットで行います。

問い合わせ先：第21回日本医療マネジメント学会学術総会

事務局 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院

担当：井澤(総務企画課)

〒457-8510 名古屋市南区三条1-1-10

TEL:052-691-7151 FAX:052-692-5220

E-mail:jhm_chukyo-hosp.jimu@chukyo.jcho.go.jp

運営事務局 日本コンベンションサービス株式会社

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2

大同生命霞が関ビル14階

担当：北里、 兪

TEL:03-3508-1214 FAX:03-3508-1302

E-mail:jhm2019@convention.co.jp

第21回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページ
<http://www2.convention.co.jp/jhm2019>

支部学術集会開催報告**第13回奈良支部学術集会**

学術集会会長：市立奈良病院院長 矢島弘嗣



会場風景

2018年2月3日(土)奈良県社会福祉総合センターにて第13回奈良支部学術集会を開催し325名のご参加をいただきました。

今回はテーマを「安心と信頼を築く」とし、基調講演では、公益社団法人 地域医療振興協会 地域医療安全推進センターセンター長の石川雅彦先生に「医療機関におけるソーシャルメディア活用のリスクマネジメント」についてご講演いただきました。

また、シンポジウムとして「病院内の安全を考える～そもそも病院は安全なのか～」と題して、救急・精神科・病棟看護・患者・医療機器管理の各立場からシンポジウムにご講演いただき、その後会場とディスカッションを行い大変盛況でした。

他に、5会場にわかれ口演32題、ポスター17題の発表があり、いずれも充実した内容で各施設の取組について、活発な意見交換をしていただきました。

皆様のご協力により、盛会裏に学術集会を開催できましたことに感謝して開催報告といたします。

第17回神奈川支部学術集会

学術集会会長：北里大学病院病院長 海野信也

2018年3月10日(土)、北里大学臨床教育研究棟(IPE棟)で第17回神奈川支部学術集会を開催しました。IPE棟は2017年9月に新築された北里のチーム医療教育を実践する校舎で、91演題(口演53、ポスター38)、269名の参加者があり、テーマ「チーム医療と人材育成」を象徴する学術集会となりました。特別講演は谷本有香氏に「医療に通じる時間術」と題した講演をいただき、パネルディスカッションは佐々木治一郎教授、近藤まゆみ師長(北里大学病院)の司会で「多職種チーム医療を成功させるために必要なこと」と題して、基調講演のほか4名の方々にご講演をいただきました。市民公開講座ではノーベル生理学・医学賞を受賞された大村 智北里大学特別栄誉教授に「私の科学と美術」と題してご講演いただき、300名収容のホールが満席となる参加がありました。ランチョンセミナーでは山中 喜代治先生による院内感染防止についてのお話しを伺いました。

第7回埼玉県支部学術集会

学術集会会長：埼玉県看護協会会長 熊木孝子

2018年3月18日(日)に埼玉県看護協会研修センターを会場として日本医療マネジメント学会第7回埼玉県支部学術集会を開催いたしました。



会場風景

テーマは「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える地域連携」で、参加者数は415名でした。基調講演として齋藤訓子日本看護協会副会長より「地域でその人らしく最後を迎えるために」を発表していただき、特別講演1題、ランチョンセミナー2題、シンポジウム7題、一般演題23題の発表が行われました。特にシンポジウムでは多職種それぞれの観点から熱のこもった発表があり会場が大いに盛り上がりました。